

「母校を想う気持ち」続々

赤鬼の春Ⅱ文 9 本校OB・関係者からの激励届く



▲瑞智先生の著書「一周目の僕は君と恋をする」

▽株式会社いろいろあわせ代表取締役
「アクションから未来を」

「アクションから未来を創れない」と授業でお伝えさせてもらいました。

皆さん

の明るい未来や、前向きに一歩進む可能性も創ってくれています。ありがとうございます!

おめでとう!

素晴らしい事だ!
僕が若い頃は、東高校は甲子園とは無縁だと思ってた。
その東高校が甲子園に二度も出場し、しかも今回の中抜では滋賀県から三校も出場する。
感激の極みだ。どの高校も頑張つてほしい!

▽ジャーナリスト。テレビな

田原總一朗さん

どさまざまなメディアでご活躍。

このたびは春の選抜大会へご出場、誠におめでとうございます。城下の学舎で出会った友人達とともに、心より声援を送ります。甲子園という晴れ舞台で、是非とも赤鬼魂

西岡津世志さん

締役。2年の総合教養講座でお世話になりました。

「感激の極みだ」

「輝かしい勝利を」

瑞智士記さん

「アクションから未来を」

北川雄士さん

卒業して20年が経ちますが、一球一球全てが自分の記憶に残るプレーが出来た時、最高の結果が待つてると確信します! 楽しんでいきましょう。

▽株式会社ボストンでラーメン店「夢を語れ」を経営。2年生の総合教養講座のためにアメリカから日本にやってくる熱いOB。

夏の大会に続き、春のセンバツへの出場を決めた野球部に、本校OB・関係者から続々と激励のメッセージが届いている。共通するのは、彦根東高校への深い想いだ。

みんなの想いが野球部の活躍や在校生の応援のエネルギーになってほしい。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号

成長した姿に感動

河瀬高等学校

久米克尚先生



甲子園出場おめでとう。昨年度の春にはまだまだあどけなく、戦う集団になるには時間がかかりそうでした。

夏には先輩たちに導かれ、夏の甲子園に連れてきてもらったというのが正直なところだったと思います。秋に見た舞洲での君たちはもう立派な戦士でした。自信をもって胸を張り、近畿代表の矜持を胸に戦え! 健闘を祈る。

▽現2年生が1年生のときの学年主任。

現在は河瀬高校で勤務されている。